

朝霞市外部評価委員会（第6回） 次 第

日時 令和8年10月2日（金）

午後2時から

場所 朝霞市役所別館5階 大会議室（手前）

1 開会

2 議事

（1）第6次総合計画の評価方法について

（2）ロジックモデルについて

3 その他

4 閉会

令和 8 年 1 0 月 2 日外部評価委員会（第 6 回）

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第 5 回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

施策評価指標一覧

番号	大柱	中柱	成果指標① (第 6 次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
1	災害対策・ 防犯 ※第 6 次総 合計画（p 192）	災害対策の推進	防災施策に対する市民 の満足度（％）	・住民の非常用品の準備状況、それから市が作成して いるハザードマップ、それから災害発生時の一時避難 場所などについて指標を整備すべき。 ・今進んでいるデジタル化に沿って、住民の方々が お持ちの端末に対するプッシュ型の情報提供を強化し て、それに対する返信状況を何がしかの目標化したら いかがか。 ・近隣の自治体であるとか、総合防災協定を結んでい る自治体、それから政府機関との協力、これらについ て目標化をするのは困難であるけれども、何かしらの 連携関係を住民の方々に提示をして、あらかじめ承知 していただく必要があるのではないかと。 ・本当に知りたいのはどれだけの人の生活を変えた とか、どれだけの助けに実際になっているかというこ ろだと思う。	定量	日常的に家庭で防災備 蓄を行っている市民の 割合（％）	令和 9 年度から新たに「防 災意識アンケート（仮 称）」を実施し、その設問 で「防災備蓄を行って いる」を選択した市民の割合	災害時における被害の軽減を図るための 活動体制や防災施設等が整備され、防災 対策が充実し、安心して過ごせるまちに なっている。	1-1-1
2		地域防災力の強化	自主防災組織の結成率 （％）	・自主防災組織の結成や消防団員の充足は大切な施策 だが、これらの結成や充足が実際に災害が発生したと きにどのように役立つかわからない。他の施策と組み 合わせて災害対応力が図れると良いと思う。これらの 数値単体で災害対応力を図るのは無理があるのではな いか。 ・朝霞市に限らず全国的に消防団の組成が困難になっ ている。これを打開する努力は全国各地で取り組まれ ているけれども、消防団員に対する人材確保に繋がる 関連資格をお持ちの方を目標化したらいかがか。 ・誰がどの情報を持っているかという指標も大事な のではないかと考えています。例えばマンションなど に住んでいて各家庭で防災意識があったとしても、バラ バラに動いたら意味がない。だったらマンション管理 人さんの方がしっかりとした情報を持っているとか、 誰がどの情報を持っているかという指標も一つあつて もいいのではないかと。	定量	補助金を活用して実施 された自主防災活動事 業件数（件）	「地域自主防災活動等事業 費補助金」を活用して実施 された自主防災活動に関す る事業の件数	自主防災の理念のもと、災害時における 被害の軽減を図るため、日頃から地域防 災力の向上に積極的に取り組むまちに なっている。	1-1-2
3		消防体制の充実	消防団の充足率（％）	－	－	－	－	埼玉県南西部消防局との連携が図られ、 消防・救急体制や消防団活動の充実した まちになっている。	1-1-3
4		防犯のまちづくり の推進	市内における人口 1, 0 0 0 人当たりの刑法 犯認知件数（件）	刑法犯認知件数を指標とすることはいいけれども、過 去からの推移や他自治体との比較が必要ではないか。	－	－	－	防犯意識の高揚と市民等による自主防犯 活動を推進し、街頭犯罪を起こさずに い地域環境になっている。	1-1-4

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
 ・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
5	地域共生社会の推進 ※第6次総合計画（p192）	地域共生社会の構築	地域福祉活動への参加団体数（団体）	住民が市役所に行って事態の説明をするというプル型から、むしろ市役所の側が前に出て行って、問題に直接対峙するというプッシュ型に転換する必要がある、指標も、職員の方々の訪問件数であるとか、相手先に行って話をしている滞在時間であるとか、問題の解決度合いであるとかというものを新しく作っていく必要があるのではないか。	－	－	－	困難を抱える者のニーズに応じて関係機関が連携し、スムーズな対応が行われている。 地域において孤立する者がおらず、それぞれが望む居場所が整備され、地域活動への参加を促すなどの参加支援体制も整えられている。	2-1-1
6		誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現	高齢者・障害者の虐待通報件数（件）	－	－	－	－	差別や偏見などの障壁が解消され、相互理解が促進されている。 誰もが身近な地域で人とのつながりづくりや社会参加の機会が確保される仕組みが構築されている。	2-1-2
7		誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	新規就労者数（生活保護受給者＋障害者＋シルバー入会者）（人）	・単なる量的実績の管理にとどまらず、サービスを通じてどのような変化・価値が生まれたかを客観的にとらえる視点を導入すべきではないか。 ・受給者側の精神的健康度やウェルビーイングを測る簡易的な尺度（WHO-5精神的健康状態指標等）や、介護サービス・行政サービスを受ける利用者本人と介護を担うご家族の社会的ケア関連QOL等の考え方・視点など、利用者および家族の実際の変化を可視化する指標やアンケートの工夫について、「まずは一部の事業等におけるスモールスタートを含め、どのように検討していくかを考えていただきたい」	－	－	－	高齢者・障害者・生活困窮者などの課題を抱える日人に対し、福祉サービス等の活用、社会参加支援、就労支援などの地域福祉施策の充実により、自立した日常生活が送れている。	2-1-3
8		誰もが安心して生活ができる支援の充実	見守りサービス利用者数（高齢者＋障害者＋その他）（人）	－	－	－	－	高齢者や障害者、住宅確保要配慮者など、誰もが各種支援サービスや地域の見守り体制などの必要な支援を受けながら安心して暮らしている。	2-1-4
9	こども・若者応援、子育て支援 ※第6次総合計画（p193）	こども・若者が健やかに育つための支援	要保護児童対策地域協議会個別支援会議で協議した人数（人）	－	－	－	－	要保護児童対策地域協議会をはじめ、関係機関と連携を図り、それぞれの機関が我がこととして、児童一人一人の課題に真摯に向き合い、支援することができている。	2-2-1
10		こども・若者が夢を思い描くための支援	こどもの居場所づくりを推進する団体数（団体）	－	－	－	－	新たな支援団体の立ち上げや、既存の各支援団体の活動が活発に行われ、こども・若者が安全で安心して過ごすことができる居場所がある。	2-2-2
11		子育て家庭を支えるための環境整備	養育支援訪問事業（件）	・青年期からのプレコンセプションケアと呼ばれているものを、これからは次の目標として入れていただきたい。 ・支援によって、親の育児不安やストレスがどのくらい軽減されたかという成果（アウトカム）を可視化していく必要がある。	定量	子育て世帯訪問支援事業の利用件数（件）	虐待予防の観点から、家事・子育て等に不安・負担を抱えた子育て家庭に対しヘルパー等を派遣した件数	出産・子育て世帯に寄り添い、ニーズに応じて、適切な支援を提供することができる。	2-2-3
12		幼児期等の教育と保育の充実	保育園待機児童数（人）	－	定量	公立保育園及び放課後児童クラブの利用者満足度（％）	保育サービスに対する利用者の満足度を把握し、保育の質や充実度を測る指標	保育の必要性のある家庭が保育所等を利用でき、待機児童が解消される。	2-2-4

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
13	保健・医療 ※第6次総合計画（p193）	健康づくりの支援	健康寿命（年）	－	－	－	－	くらしの中から健康づくりへの関心が高まり、意識向上が図られ、多くの市民に健康づくり活動の輪が広がるとともに、市民ニーズに対応した保健サービス、健康増進事業、健康危機管理体制などが展開されている。	2-3-1
14		健康危機管理・地域医療の充実	予防接種率（A類）（％）	－	－	－	－	重篤性の高さから疾病の蔓延防止に比重を置いたA類の予防接種の接種率が95％を超えている。 また、予防接種の効果と副反応について正しい理解が得られている。	2-3-2
15		保険事業等の適正な運営	市レセプト点検による過誤調整の効果額（円）	・ご家族の介護支援の成果指標としてJ-ZBI（Zarit－Burden－Interview－の日本語版）や社会的ケア関連QOL（ASCOT）などの視点、評価を取り入れられるのではないかな。	定量	看護小規模多機能型居宅介護事業所数（か所）	公募等により整備した看護小規模多機能型居宅介護事業所の数	【国民健康保険制度】 国民健康保険の加入・脱退などの資格管理や保険税の賦課、保険給付が行われている。 【高齢者医療制度】 医療費の適正化が図られ、埼玉県後期高齢者医療広域連合が安定した制度運営が実施されている。 【国民年金制度】 国民年金制度を市民が正しく理解し、適正な年金受給につなげられるように、日本年金機構と連携を図り、情報提供や相談体制の充実を図る。 【介護保険制度】 住み慣れた地域の中で、適切な介護サービスの提供を受けながら暮らし続けることができる。	2-3-3

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
 ・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策コード
					種類	指標名	指標の説明		
16	学校教育 ※第6次総合計画（p194）	持続可能な社会の創り手の育成	埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査における「将来の夢や目標をもっていますか。」の回答状況（％）	－	－	－	－	児童生徒が各教科等の学びを基盤とし、様々な情報を活用・統合しながら、課題を発見・解決したり、社会的な価値の創造に結び付けたりしていく資質・能力を身に付けている。	3-1-1
17		確かな学力と自立する力の育成	埼玉県学力・学習状況調査における「学力を伸ばした児童生徒の割合」達成状況（教科）	－	－	－	－	児童生徒が基礎学力を確実に身につけ、自分の課題に向き合い、発達段階や習熟度に応じて学力向上に向けて主体的に粘り強く学ぼうとしている。	3-1-2
18		多様なニーズに対応した教育の推進	学校に行きづらい児童生徒へのICT支援実施率（％）	・簡単に不登校が改善解決できるケースばかりではないと考えられるため、相談件数、解決あるいは改善したと判断できる件数、学校に行きづらい児童生徒に対する評価、SDQ（子どもの強さと困難さアンケート）といった視点も必要なのではないか。 ・こういった分野は、すっきり改善する・回復することが難しかったりする分野なので、「改善」に重きを置いてしまうと、それまでのプロセスとか介入して成果があったことが見えなくなるのではないか。 ・現状維持とか、これ以上悪化することを防止すること自体がもう一つの大きな成果という分野でもあると思うので、そっちをどうにか見える形にできないか。	定量	学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた人数の割合（％）	校内（養護教諭・スクールカウンセラーや相談員等）及び校外（教育支援センター・児童相談所・病院等）において、不登校に係る指導・相談を受けた人数の割合	児童生徒が様々な理由で登校できない場合でも、学びを支えるデジタル学習基盤等の環境整備と、情報活用能力の向上により、自宅等の様々な場所から学習活動に参加することができている。	3-1-3
19		質の高い学校教育を推進するための環境の充実	教育委員会アンケート（こども対象）において「学校はICTを活用した教育を推進している」の回答状況（％）	－	－	－	－	学校教育活動全体でのICT活用の取組を通して、児童生徒の情報活用能力を育成し、課題解決のためにICTを活用している。	3-1-4
20		学校施設の適切な維持・管理	学校施設長寿命化計画の進捗率（％）	－	－	－	－	計画的に学校施設の改修等を実施することで、安全・安心かつ快適な教育環境を整えることができる。 学校施設の適切な維持管理により、質の高い学校教育を支える教育環境を整えることができる。	3-1-5
21		学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	学校評価における地域連携に係る項目の回答状況（％）	－	－	－	－	地域や保護者、学校、市民の協働により、各学校において、特色ある学校づくりを進めるとともに、家庭教育学級への支援を引き続き行う。 部活動の地域展開については、国のガイドラインに基づき、関係部署と連携しながら実施体制を構築していく。	3-1-6

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
22	生涯学習	生涯にわたる学び の推進	事業参加者満足度 (%)	－	－	－	－	「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、生涯にわたって行う「学び」を支え、その成果を生かすことができる。	3-2-1
23	※第6次総合計画（p194）	学びを支える環境 の充実	公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者総数（人）	－	－	－	－	「いつでも」「どこでも」「誰でも」生涯にわたって行う「学び」が支えられ、その成果を生かすことができている。	3-2-2
24	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション活動の 推進	週1回以上スポーツを行っている人の割合 (%)	－	－	－	－	多くの市民がどこでも気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	3-3-1
25	※第6次総合計画（p195）	利用しやすい施設の 提供	スポーツ施設（14施設）の利用率（%）	－	－	－	－	多くの利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できている。	3-3-2
26	地域文化	歴史や伝統の保護・活用	文化財課が行う事業に対する満足度（%）	－	－	－	－	次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、郷土に対する愛着や誇りを持てるまちとなる。	3-4-1
27		芸術文化の振興	文化祭入場者数（人）	時代が大きく変わっているのでそれに合わせた対応とその指標作りが必要ではないか。	－	－	－	市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会が確保され、さまざまな芸術文化にふれることができる。	3-4-2
28		地域文化によるまちづくり	朝霞市民まつり「彩夏祭」来場者数（人）	－	定量	彩夏祭「関八州よさこいフェスタ」出場市内チーム数（チーム）	よさこい鳴子踊り「関八州よさこいフェスタ」に出場している市内チーム数	「彩夏祭」などの地域イベントが市民の手で継続して開催されており、次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、市民が郷土に対する愛着や誇りを持っている。	3-4-3

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
29	環境 ※第6次総合計画（p195）	住み良い環境づくりの推進	典型7公害苦情を受け付け、指導・要請した結果、是正された件数（件）	－	定性	朝霞の環境の編集・発行・改善	環境に関する情報等を適切に公表し、環境審議会に諮り、次年度以降の改善につなげているか。	環境情報の収集や周知により、豊かな緑と水辺が守り育まれ、誰もが安心して暮らせている。	4-1-1
30		低炭素・循環型社会の推進	温室効果ガス排出量の削減率（％）	－	定性	ゼロカーボン推進に関する取組の推進状況	ゼロカーボン推進に関連する取組が実施できているか。	ゼロカーボン推進の取組を進めることにより、環境への負荷が少なく、持続可能な社会が構築されている。	4-1-2
31		環境教育・環境学習の推進	環境美化ポスターの応募者数（人）	－	－	－	－	市民、事業者に対する環境啓発や学習を通じ、市民全体に環境美化意識が浸透され、市民総ぐるみによるまちづくりができています。	4-1-3
32	ごみ処理	ごみの減量・リサイクルの推進	市民一人当たりごみ排出量（g／日）	－	定量	リサイクル率（％）	リサイクル率を上昇させることで、ごみ減量化が推進できる。	市民、事業者、行政の3者の協働により、ごみの排出量の抑制と、ごみの再資源化への理解が進み、さらなる「低炭素・循環型社会」の構築が推進されている。	4-2-1
33	※第6次総合計画（p196）	ごみ処理体制の充実	ごみ焼却処理施設の稼働率（％）	－	－	－	－	効率的な収集・運搬体制の確立を図り、ごみ処理施設の適切な維持管理及び運転管理を行うとともに、ごみ広域処理施設を計画どおり建設することにより、ごみ処理体制の充実が図られている。	4-2-2
34	消費生活・葬祭	消費者の自立支援の充実	消費生活相談件数（件）	－	定量	消費生活に関する講座参加者数（人）	消費者教室、出前講座等の参加者数	消費者に必要な情報、消費者教育の機会が提供されるとともに、消費者被害の未然防止と迅速な被害回復のための消費生活相談の充実を図り、市民が安全に、安心して消費生活を送れる公正で持続可能な消費者市民社会を実現できている。	4-3-1
35	※第6次総合計画（p196）	安心できる葬祭の場の提供	斎場利用率（％）	－	定性	葬送等に関する情報交換	おくやみ窓口、市民葬、斎場、墓地に関する情報の連携が図れているか。	市が運営する公営斎場として、市民から安心して利用できる施設として多くの方に利用されている。	4-3-2
36	コミュニティ・市民活動 ※第6次総合計画（p196）	コミュニティ活動の推進	自治会・町内会加入率（％）	－	定量	黒目川堤防清掃参加者数（人）	コミュニティ協議会が主催する黒目川堤防清掃の参加者数	自治会・町内会への支援や加入促進活動などを通じて、自治会・町内会に加入する方が増えており、地域コミュニティ活動が活発に行われている。	4-4-1
37		活動施設の充実	市民センター利用率（％）	－	－	－	－	利用者ニーズや朝霞市建物系公共施設マネジメント実施計画に基づき、長寿命化改修や修繕等を適切に行い、多くの市民に利用される施設として充実している。	4-4-2
38		市民活動への支援	NPO法人数（法人）	－	定量	市民活動相談会参加者数（人）	市民活動支援ステーションが実施する市民活動相談会の参加者数	市民活動に関する情報の収集や発信、活動の相談や団体同士の交流促進などの場として、市民活動支援ステーション・シニア活動センターが活用され、豊かで活力ある地域社会の実現に向けて、市民活動が活性化している。	4-4-3
39		市民活動環境の充実	団体の施設利用回数（団体）	－	－	－	－	市民活動団体や市民が、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用しやすいように、施設、備品が適切に維持管理されている。	4-4-4

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
40	土地利用 ※第6次総合計画（p197）	利便性の高いまちづくり	市内人口に占める居住誘導区域内の人口割合（％）	－	－	－	－	交通の利便性の高い地域を中心に居住と都市機能を集約し、公共交通と連携した持続可能なまちづくりを実現する。防災、健康、自然環境などのバランスが取れた、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を行えるまちを目指す。	5-1-1
41		特性に応じたまちづくり	あずま南地区土地区画整理事業整備進捗率（％）	－	－	－	－	周辺住宅地と調和した良好な住環境を維持・向上させ、土地区画整理事業で都市基盤を整備する。住民・民間が主体となって取り組む地区計画や建築協定を活用するほか、民間と連携して商業地のにぎわいと地域活力を創出する。市街化調整区域でありながら都市機能の集積が見込まれるエリアにおいては、公共的な機能の維持、または計画的な誘導を図る。	5-1-2
42		人中心の歩きたくなるまちづくり	朝霞駅南口駅前通りの歩行者交通量（人／時間）	－	－	－	－	街路空間や公園、景観づくり重点地区などにベンチの設置やミニパーク等の整備を推進するとともに、ゆとりある歩行空間を確保するため、車道と歩道の幅員を再配分するなど、ウォークブルなまちなかづくりを形成する。市民や民間事業者等との協働により、まちなかの公共空間の利活用を促進し、公共空間および周辺の地域の価値向上やにぎわいを創出する。	5-1-3
43	道路交通	やさしさに配慮した道づくり	歩道整備延長（累計）（m）	－	－	－	－	道路・橋梁等の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行うことで、誰もが安全で快適に利用できる道づくりとなっている。	5-2-1
44	※第6次総合計画（p197）	良好な交通環境づくり	市内循環バス（コミュニティバス）の年間利用者数（人）	－	－	－	－	既存路線の維持確保に取り組むとともに、バスやタクシー、新たな公共交通の導入などにより利便性を高め、多くの市民が公共交通を快適に利用する。	5-2-2

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
45	みどり・景観 ※第6次総合計画（p197-198）	まちの骨格となる緑づくり	市内全域における緑地面積（h a）	－	－	－	－	生物多様性や景観の重要性を地域全体で理解し、緑地の保全が地域の資源であるという認識を広めることで、保全意識を高める。	5-3-1
46		うるおいのある生活環境づくり	公園・緑地管理ボランティア団体数（団体）	－	－	－	－	若年層や中高年層を含む幅広い世代が参加しやすい仕組みや活動内容を整備し、多様な世代が共に活動できる環境づくりを進める。	5-3-2
47		まちの魅力を生み出す景観づくり	景観の満足度（％）	－	－	－	－	居心地がよく歩きたくなるまちなか空間の創出が図られるよう、まちづくりに寄与する自然と調和した良好な景観形成が推進されている。 景観づくり重点地区に指定した黒目川やシンボルロードの優れた景観を保全することで、市の魅力を積極的に発信する。	5-3-3
48	住宅 ※第6次総合計画（p198）	安心して快適な住環境の整備	適切な管理が行われていない空き家の情報提供に対する解決割合（％）	－	定量	マンション管理計画認定件数（件）	適切な維持管理を実施するなど一定の基準を満たしたマンションから申請された管理計画の認定件数	建物の老朽化や居住者の高齢化が進行していることから、補助制度や相談窓口についての周知や広報を強化し、適切な管理が行われていない空き家の通報件数を減少させていく。	5-4-1
49		安定した住生活の確保・支援	居住支援相談の満足度（％）	－	－	－	－	住宅の確保に向けて、関係機関や不動産業界と連携を取り、相談者により良い居住に関する支援情報を提供していく。	5-4-2
50	上下水道整備	上水道の整備・充実	基幹管路の耐震化率（上水道）（％）	－	－	－	－	水道管路（耐震・老朽）の更新を進めることにより、水道水の安定供給ができている。	5-5-1
51	※第6次総合計画（p198）	公共下水道の整備	老朽化管渠の修繕改築工事延長（k m）	－	－	－	－	下水道事業の健全な経営を構築し、老朽化した施設の更新や雨水浸水対策を進めることで、安全で良好な生活環境が維持されたまちを目指す。	5-5-2

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
52	産業活性化 ※第6次総合計画（p199）	魅力ある商業機能の形成	商店街活性化事業実施数（回）	「商業機能」というところに意識を寄せるのではなくて、それも含めた住民サービスの施設拡充というところに着眼点を変えて対応した方がいいのではないかな。	定量	店舗等リフォーム資金補助金の補助件数（件）	市内の空き店舗又は既存店舗について、市内の施工業者によるリフォームを実施したときに対象となる補助金の件数	空き店舗を活用した新規創業やリノベーションが積極的に行われ、地域の特色を活かした個店が連なることで、市内外から人が訪れる活気ある商店街・商業エリアが形成されている。 日常の買い物機能だけでなく、地域コミュニティの核として、高齢者や子育て世代を含むすべての住民が、安心して快適に利用できる身近な商業環境が整っている。	5-6-1
53		中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化	商工会加入率（％）	－	定量	事業承継セミナーの参加者数（人）	事業承継に関するセミナーに参加した人数	事業承継の早期着手への支援により、地域の貴重な技術や雇用が次世代へ引き継がれている。また、多様な人材が働きがいを持って定着・活躍できる労働環境が整っている。 商工会や金融機関等との連携により、きめ細かな経営相談や資金繰り支援が行き届き、外部環境の変化にも柔軟に対応できる自立的かつ持続可能な経営基盤が確立されている。	5-6-2
54		企業誘致の推進	企業誘致件数（件）	－	－	－	－	交通ネットワークの強みなどを生かした計画的な産業用地の整備が進むことで、成長産業（環境、デジタル、先端製造業など）や優良企業の立地につながっている。	5-6-3
55		都市農業の振興	認定農業者数（人）	－	定量	農業体験事業の申込組数（組）	農業体験事業の募集に申し込んだグループの数	都市化が進む中で都市農業、都市農地の多様な機能や立地条件の有利性を生かした農業経営が行われている。	5-6-4
56	産業の育成と支援	産業育成のための連携強化	あさか産業フェア来場者数（人）	－	－	－	－	関係機関が緊密に連携し、それぞれの強みや専門性を生かして、企業の創業から事業展開、経営改善に至るまでを切れ目なくサポートする体制が確立されている。	5-7-1
57	※第6次総合計画（p199）	起業・創業の支援	認定特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明を発行した事業者数（者）	－	定量	市の支援（合同・共催事業を含む）を受けて起業した人数（人）	市が実施する起業家育成セミナーや相談に参加し、起業につながった人の人数	起業時の相談・セミナーが充実しており、商工会や金融機関等との連携による伴走型支援環境が整っていることにより、起業・創業を目指す方に選ばれるまちになっている。	5-7-2
58	勤労者支援 ※第6次総合計画（p199）	勤労者支援の充実	ワーク・ライフ・グッドバランス認定企業件数（件）	－	－	－	－	多様な働き方が選択できるような、働きやすい環境を整備した市内事業者が増え、勤労者が市内企業へ就職し、定着していくまちになっている。 労働・社会保険相談の実施を続け、市及び関係機関の相談事業の周知を図ることで、きめ細やかな相談・支援が受けられている。	5-8-1
59		雇用の促進	就職支援相談者数（人）	－	定量	市の支援（合同・共催事業を含む）を受けて就職した人数（人）	市が実施する就職支援セミナーや相談会等に参加し、就職につながった人の人数	就労を希望する方が希望する条件で就労できる事業者を見つけることができ、市内事業者は人手不足にならず、次代を担う人材が地域に定着している。	5-8-2

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
 ・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
60	人権・多様性の尊重 ※第6次総合計画（p200）	人権教育・啓発活動・問題解決に向けた支援	人権に関する研修会・講演会参加者数（人）	－	－	－	－	年齢や性別、国籍などに関わりなく基本的人権を互いに尊重し、認め合い、その人らしく生きていくことができる差別のない明るいまちになっている。	6-1-1
61		男女共同参画・性の多様性	社会通念・習慣・しきたりなどで男女の地位は平等であるとする市民の割合（％）	－	－	－	－	年齢や性別に関係なく、基本的人権を互いに尊重し、認め合い、その人らしく生きていくことができる。	6-1-2
62		多文化共生	多文化推進サポーターの登録人数（人）	－	－	－	－	ごみの分別方法など情報の多言語化や異文化情報の発信などを通して、外国人市民による生活上のトラブルが減り、また、相互理解が促進されている。	6-1-3
63	市民参画・協働 ※第6次総合計画（p200）	市民参画と協働の推進	NPOやボランティア等との協働事業数（事業）	－	定量	市民満足度アンケートにおいて「自分の意見が市政に反映されている」と回答した市民の割合（％）	自分の意見が市政に反映されているかについてアンケートを実施し、「反映されている」「どちらかといえば反映されている」を選じた市民の割合（4段階評価）	多くの市民が様々な機会を通じてまちづくりに参加できている。行政やNPO、ボランティアなどが主体的に連携・協力し、それぞれの強みを生かしながら、地域づくりや課題解決に取り組んでいる。	6-2-1
64		情報提供の充実と市民ニーズの把握	広報あさかを見やすいと感じている市民の割合（％）	－	定量	朝霞市LINEの登録者数（人）	朝霞市LINE公式アカウントの登録者数（人口カバー率）	市民ニーズを幅広く収集できる体制が整えられていて、市が保有する行政情報を様々な媒体を活用して市民に提供するとともに、市民からも容易に情報にアクセスできる状態である。	6-2-2

施策評価指標一覧

・新たに設定した指標を太字にしています。
 ・第5回会議において指標設定に関する意見が出ていない施策及び新たに指標②を設定しない施策の欄には「－」を入力しています。

番号	大柱	中柱	成果指標① (第6次総合計画に 設定)	外部評価委員会での指標設定に関する意見	成果指標②			目指す姿	施策 コード
					種類	指標名	指標の説明		
65	行財政 ※第6次総合計画（p200-201）	総合計画の推進	市民満足度アンケート結果（34項目）の平均点（4段階評価）（点）	・総合計画の評価を市民アンケートの満足度調査で測るのは無理である。各施策の達成目標KPIがあり、各々がどれだけ達成できたか、成果を得られたかを測るべきではないか。 ・活動指標が外部評価委員会の開催回数などというのもおかしい。各施策が事業計画通り実施できたかどうかで測るべき。	定性	各施策の評価及び改善	各施策を適切に評価・検証し、評価結果を次年度の施策改善につなげているか。	計画に基づいた施策を実施し、時代に対応した柔軟な行政運営がされている。	6-3-1
66		公平・適正な負担による財政基盤の強化	市税収納率（現年分）（%）	－	定量	経常収支比率（%）	財政構造の弾力性を判断するための比率として、経常的な支出を地方税などの安定した財源で賄えているかを示す指標。	持続可能な行財政運営を行うための安定した財源が確保されている。	6-3-2
67		公共施設の効果的・効率的な管理・運営	公共施設の改修工事着手率（%）	－	－	－	－	計画的に改修工事を実施することで、市民が公共施設を安心・安全に利用することができる。 また、適切な時期に効果的な改修工事を実施することで、無駄な維持管理費用が発生せず、費用面でも効率化が図れている。	6-3-3
68		デジタル化の推進	電子申請による時間節約効果（時間）	－	定性	DXによる業務負担改善の実感度	5段階のアンケート等により職員の負担改善の実感度を把握し、デジタル化による業務の効率化・省力化の進捗状況を評価する。	行政手続のデジタル化により、市民がいつでもどこでも手続を完結できる環境を実現する。電子申請の利用拡大を通じて市民の手続時間を大幅に短縮し、利便性を高めるとともに、業務の効率化・省力化を進め、限られた行政資源で将来にわたり質の高い行政サービスを持続的に提供できている。	6-3-4
69		機能的な組織づくりと人材育成の充実	市民満足度アンケートにおいて「満足」と回答した市民の割合（%）	－	定量	市民満足度アンケートにおいて「多様なニーズに対応できている」と回答した市民の割合（%）	多様なニーズに対応できているかについてアンケートを実施し、「対応できている」「どちらかといえば対応できている」を選択した市民の割合（4段階評価）	職員の育成を図り、さまざまな行政課題等に対応可能な柔軟で機能的な組織運営を行うことで、多様化する行政需要に的確に対応している。	6-3-5
70		シティ・プロモーションの展開	市に愛着を感じている市民の割合（%）	－	定量	市民との協働や事業者等との連携によるシティ・プロモーションの機会（累計）（回）	市民や事業者等と連携しながらシティ・プロモーションに関する取組を実施する回数	シティ・プロモーション方針に沿って、市民、関係機関、市内外事業者等と協力、連携しながら、行政だけでは実現し得ない魅力の創出を図るとともに、地域性、話題性のあるシティ・プロモーションを展開することで、まちへの愛着が醸成されている。	6-3-6

ロジックモデルの導入について

1 趣旨

現状の行政評価では、総合計画における各施策や事業の取組状況の把握に留まり、それによって生じた変化までは測れていないため、新たな評価の考え方を導入し、総合計画の円滑な進行管理を行う。

2 ロジックモデルとは

- ・ある事業やプロジェクトが「どのような資源を使い、どんな活動を経て、最終的にどのような成果や社会的変化をもたらすのか」という因果関係の論理（ロジック）を図式化したフレームワーク
- ・主に政策評価や企業の新規事業などで「施策の設計図」としても活用

3 目的

- ・これまで、インプット・アウトプットによる「取組状況の把握」はできたが、「それが施策の成果（どんな変化が生じたか）につながっているか」というアウトカムの測定が不十分だった。
- ・前期基本計画に位置付けた指標は、施策の進捗管理はできるが、評価ができない。（総合計画審議会の意見）
- ・ロジックモデルを導入することで、最終ゴールまでのストーリーが可視化され、目的の明確化が可能となる。

4 なぜロジックモデルを導入するのか

- ・「手段の目的化」を防げる
→「事業をした（アウトプット）」こと自体で満足せず、「それによってどんな変化が起きたのか（アウトカム）」に意識を向けることができる。
- ・「何を目指して活動をしているのか」を論理的に説明できる
→「最終ゴール（K G I）」と「個々の施策の成果（K P I）」を関係者間で説明、共有ができる。
- ・適切な評価や改善（P D C A）が可能になる
→成果がでなかった場合の分析ができる（「インプット不足？」、「活動内容に問題がある？」、「そもそもロジック（因果関係の仮設）が間違っている？」）

5 今後のスケジュール

- ・令和 8 年度（試行）
 - 1 0 月～1 1 月 ロジックモデルを試行的に作成
 - 1 2 月 外部評価委員会にロジックモデル案（2 項目程度を予定）をお示しし、意見を頂く。
- ・令和 9 年度～令和 1 0 年度（試行）
 - 令和 8 年度に作成したロジックモデルの評価を実施する。
 - 理解・浸透状況に応じて他のロジックモデルも試行的に作成するか検討する。
 - 合わせて、第 6 次総合計画後期基本計画でロジックモデルを活用できるか検討する。

「手段」と「目的」を間違えない

＜KPIの正しい理解とロジックモデルの活用＞

DXアドバイザー/朝霞市外部評価委員

村上文洋

本日、ご説明したいこと

「手段」と「目的」を間違えない。

「なぜ？」を5回繰り返す

(トヨタ自動車)

「システムをどう作るかではなく、 ラーメンをどれだけ売るか」

(p.182、日清食品)



出所：集英社webサイト（閲覧日：2021年9月24日）
<https://books.shueisha.co.jp/items/contents.html?isbn=978-4-7976-8074-4>

ある自治体の総合計画の
「施策（事業）」を例に説明します。

「結婚支援の充実」

大前提

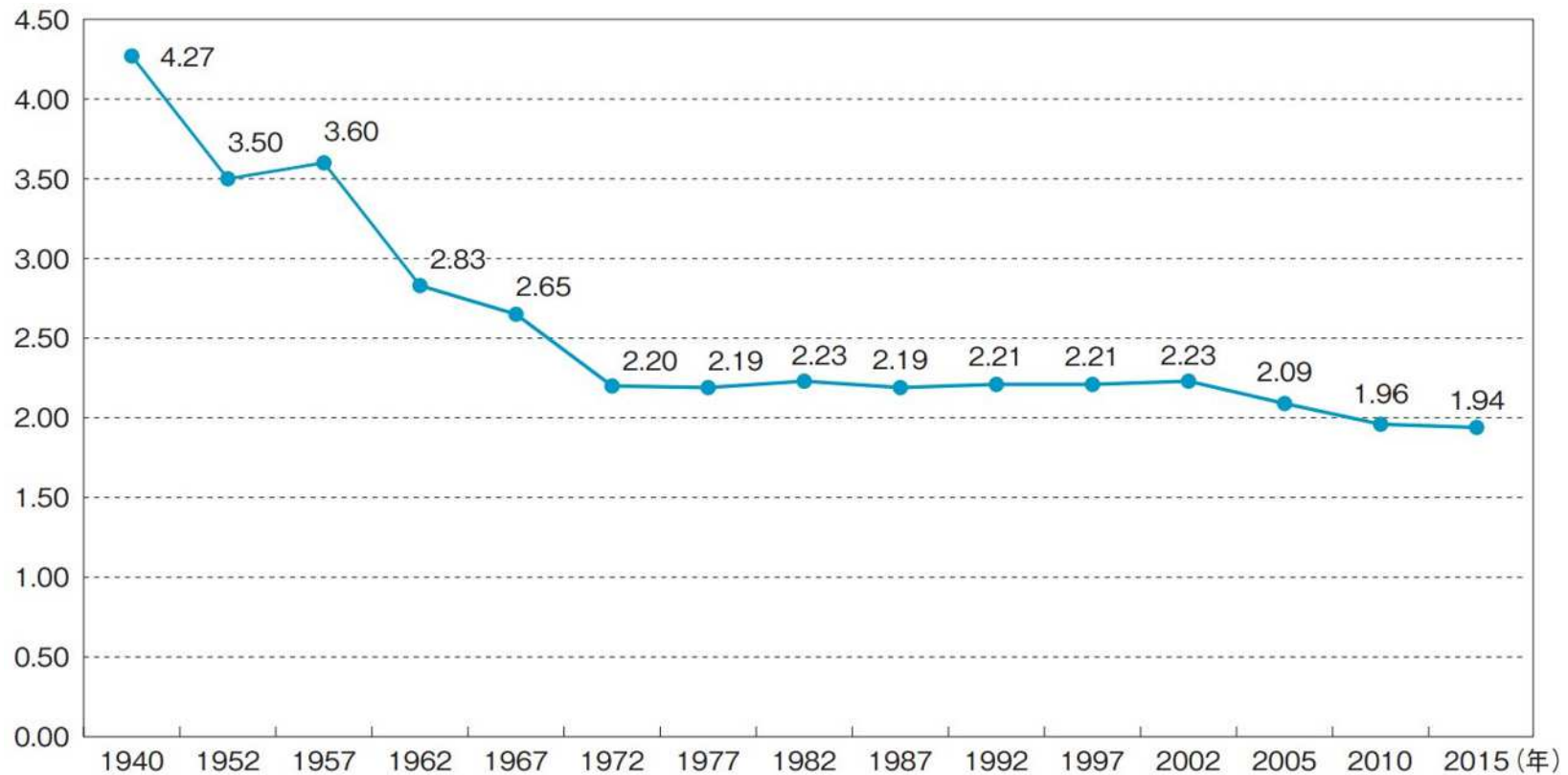
結婚する/しないも

子どもを持つ/持たないも

子どもを何人持つかも

個人の自由

完結出生児数（結婚持続期間が15～19年の初婚どうしの夫婦の平均出生子供数）



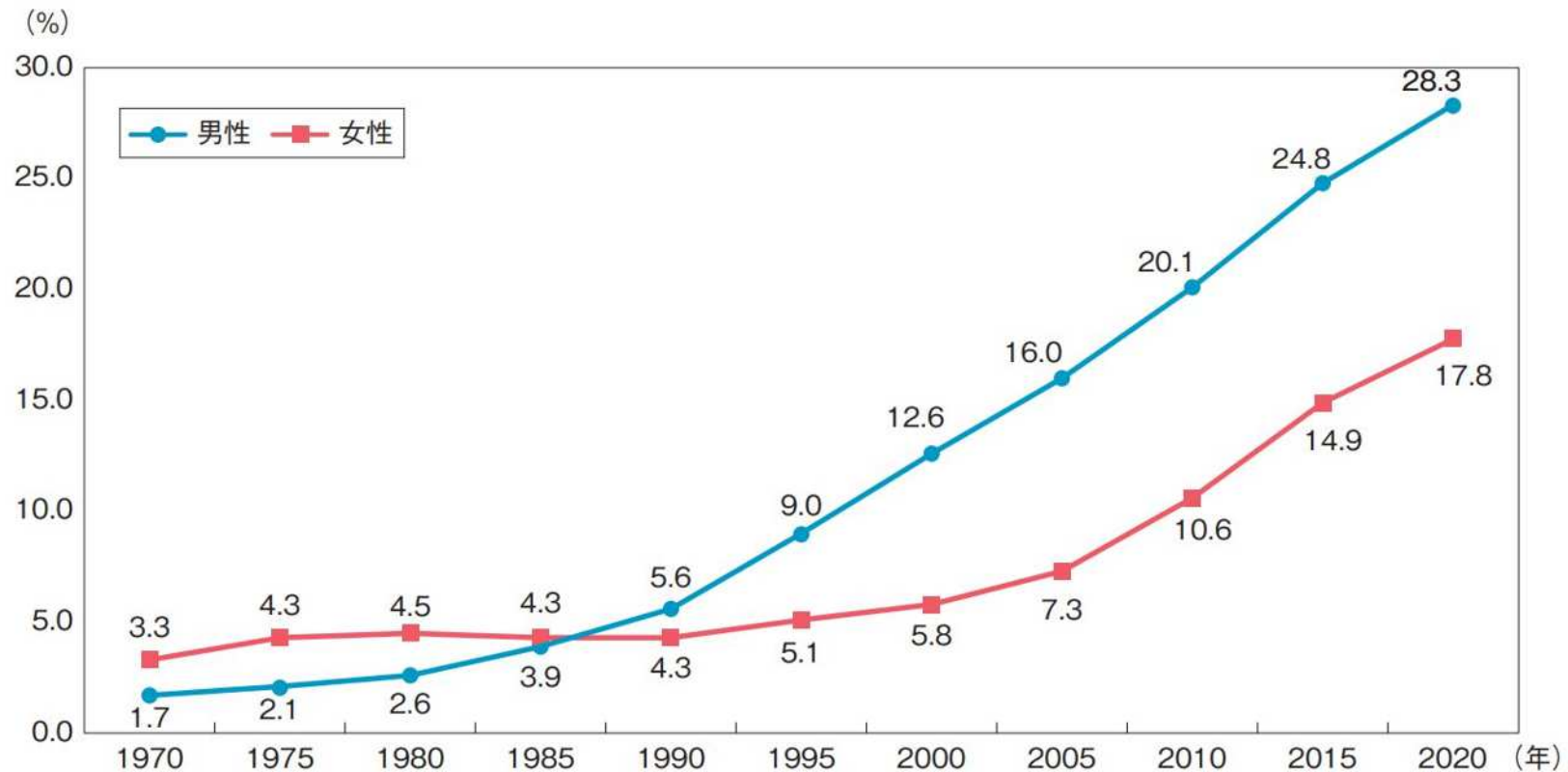
資料：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2015年）を基に作成。

注：対象は結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦（出生子供数不詳を除く）。横軸の年は調査を実施した年である。

出所：内閣府「令和4年版少子化社会対策白書」（閲覧日：2023年3月29日）

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2022/r04pdfhonpen/pdf/s1-3.pdf>

50歳時の未婚割合

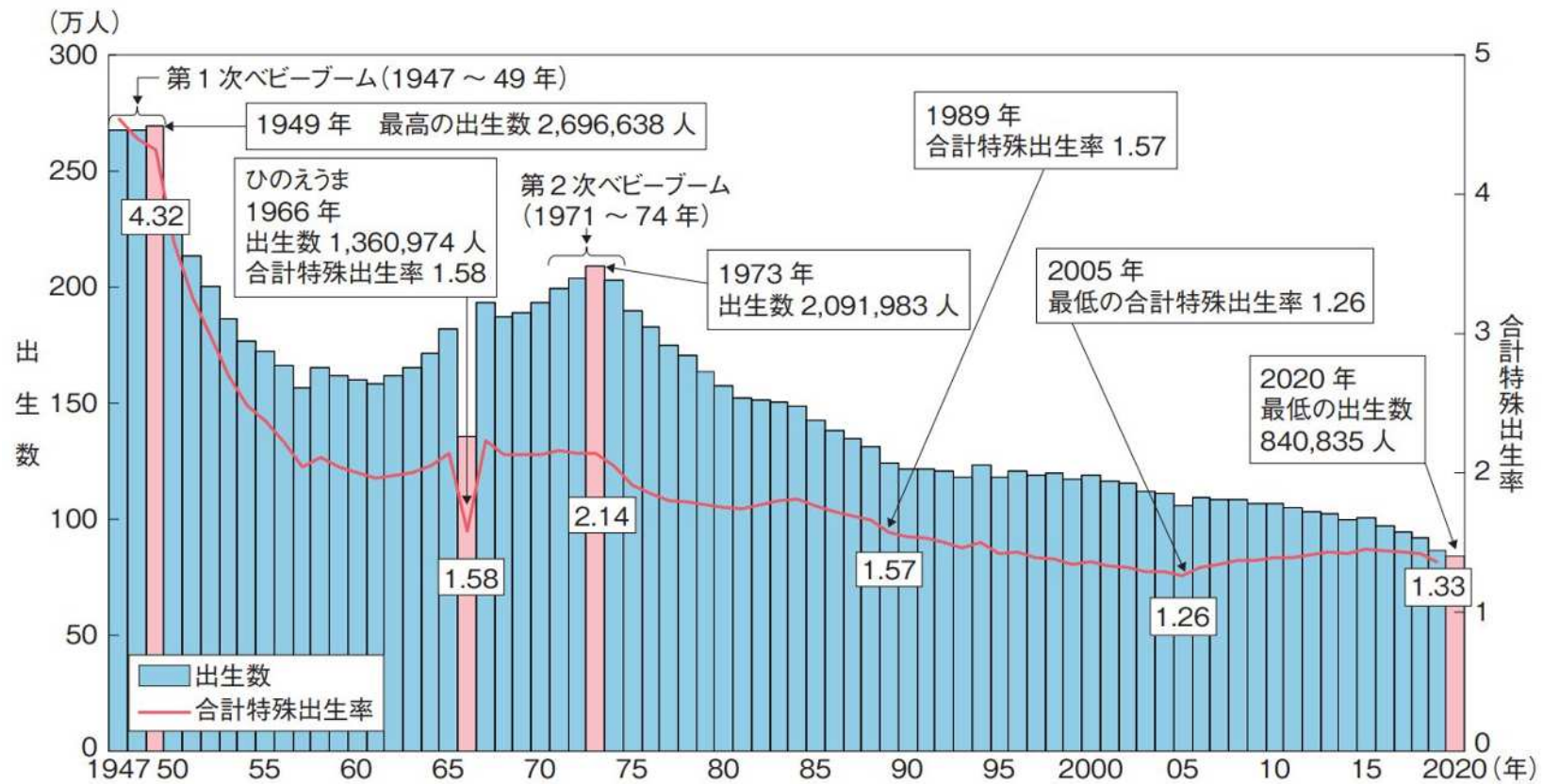


資料：各年の国勢調査に基づく実績値（国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」。（2015年及び2020年は配偶関係不詳補完結果に基づく。）

出所：内閣府「令和4年版少子化社会対策白書」（閲覧日：2023年3月29日）

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2022/r04pdfhonpen/pdf/s1-3.pdf>

合計特殊出生率の推移

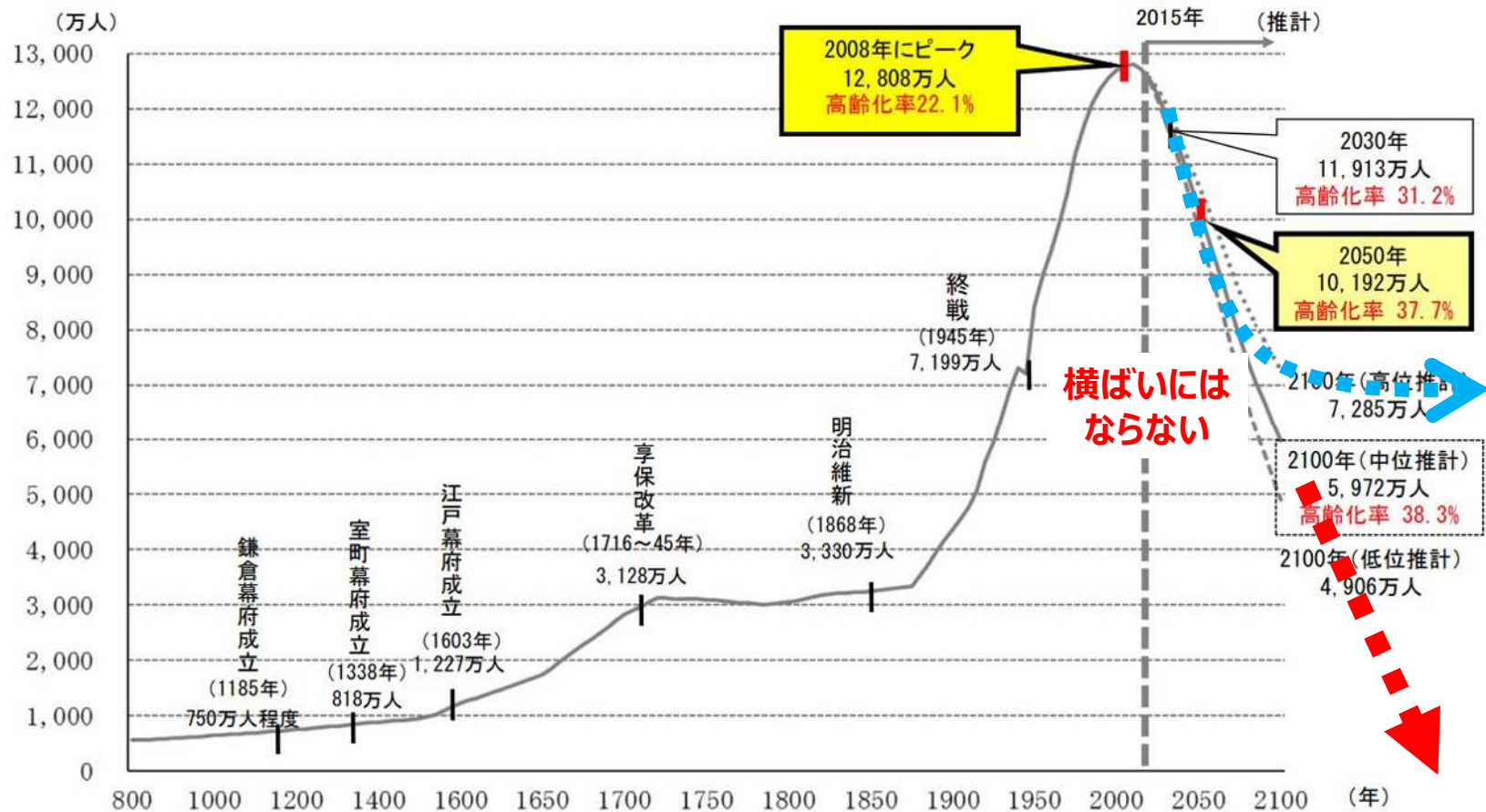


資料：厚生労働省「人口動態統計」

出所：内閣府「令和4年版少子化社会対策白書」（閲覧日：2023年3月29日）

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2022/r04pdfhonpen/pdf/s1-2.pdf>

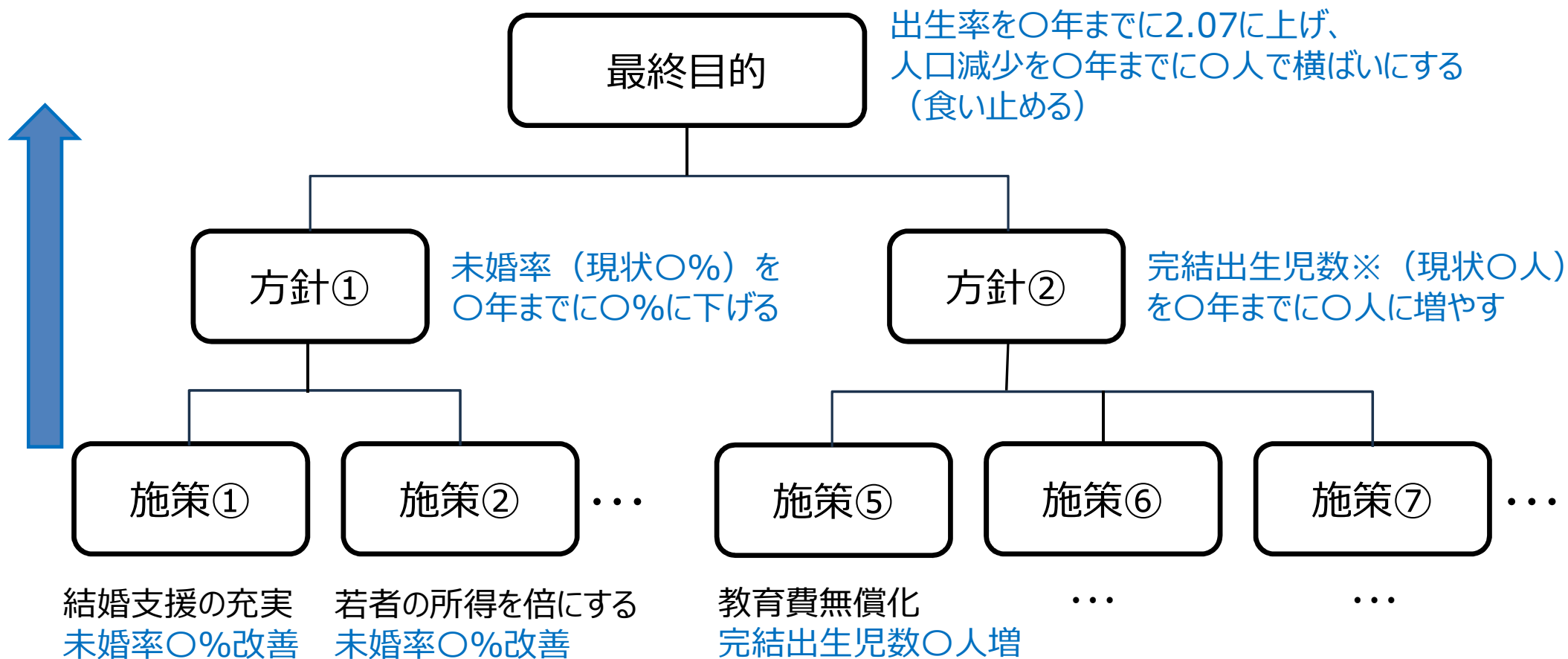
人口減少問題



(出典) 1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、1920年からは総務省「国勢調査」。なお、総人口のピーク(2008年)に係る確認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」を基に作成。

出所: 「国土の中期展望」最終とりまとめ 参考資料 (2021年6月、国土審議会 計画推進部会 国土の長期展望専門委員会) に矢印等を追記。
<https://www1.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001412278.pdf> (閲覧日: 2023年3月29日)

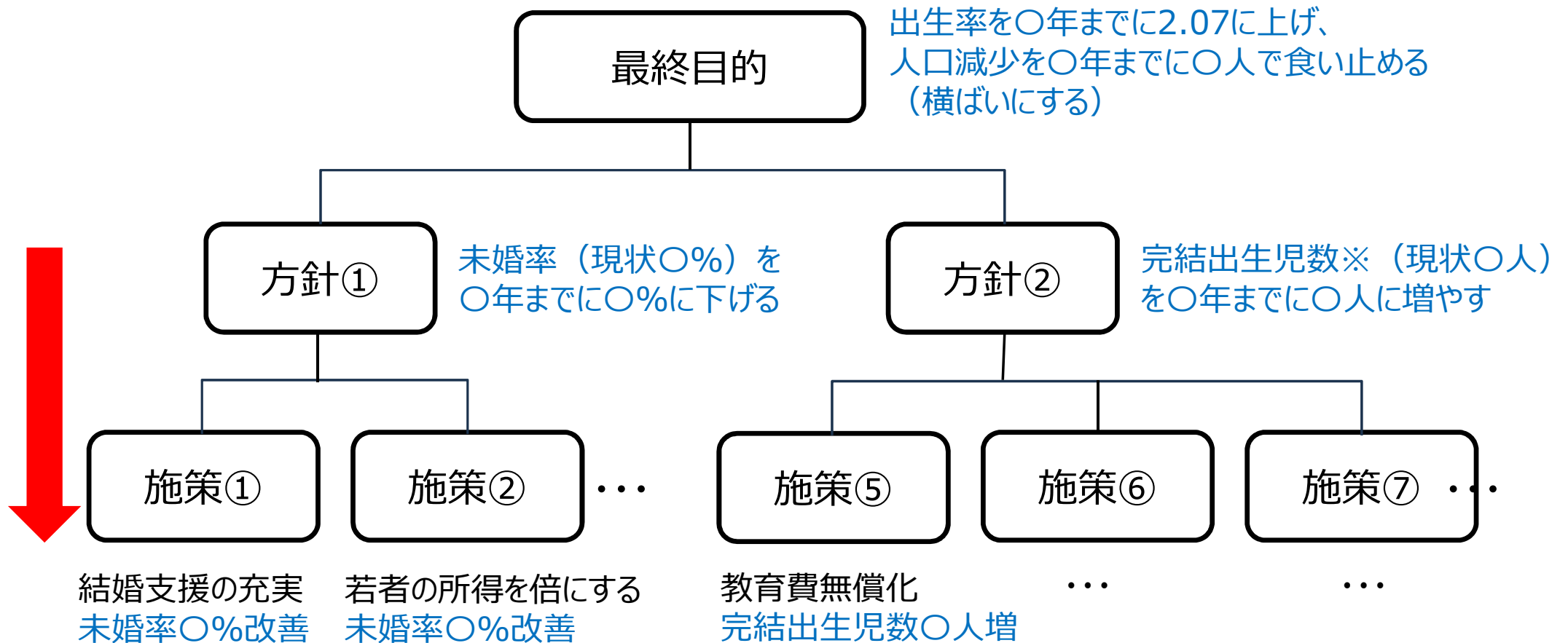
「結婚支援の充実」の目的



※完結出生児数：結婚している夫婦の子どもの数の平均値

未婚率を下げるには
どうしたらいいか

結婚支援の充実の具体策



※完結出生児数：結婚している夫婦の子どもの数の平均値

結婚しない(できない)理由(例)

1) 経済的不安

- ・給与が安い、非正規雇用で不安定、結婚や子育てにお金がかかるなど

2) 結婚や子育てに対する不安

- ・結婚して子どもができてても育てられるか不安、将来の社会への不安など

3) 出会いがない

- ・出会う機会がない、希望する相手との出会いがないなど

4) 結婚にメリットを感じない

- ・子どもが苦手、自由に使えるお金や時間がなくなるなど

などなど

ハンガリーの少子化対策（例）

1. 結婚奨励金と無利子ローン

- ・新婚カップルに毎月15ユーロの税額控除。
- ・3万ユーロの無利子ローン。3人子どもが生まれると返済免除。

2. 学生ローン返済免除

- ・第2子出産で5割、第3子出産で全額免除。

3. 所得税減税

- ・子どもが増えるほど減税率が上がり、4人生まると定年まで所得税ゼロ。

4. 有給育児休暇

- ・子どもが3歳になるまで取得可能。育児休暇中も給与の7割が支払われる。

5. マイホーム補助金、新車購入補助金

- ・3人以上子どもがいたら、住宅購入時に3万ユーロの現金支給と、4万5千ユーロ分の住宅ローンの金利を補助（新築物件の場合。中古物件の場合は条件が異なる）。子どもの数に応じて減額あり。
- ・3人以上子どもがいたら、7人乗りの新車購入時に7,500ユーロの補助金。

出所：人口増加に執念、ハンガリーの「すごい」少子化対策 東アジア「深層取材ノート」（第69回）2021.1.4（月）近藤 大介
<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/63506>（閲覧日：2022年3月14日）

ロジックモデルの説明

言葉の意味

KGI (Key Goal Indicator)
最終達成目標指標

KPI (Key Performance Indicator)
個々の施策の成果指標

大切なのは
「最終目標を明確」にして
「数値目標」を定めること。

よくあるケース

最初に施策を考える



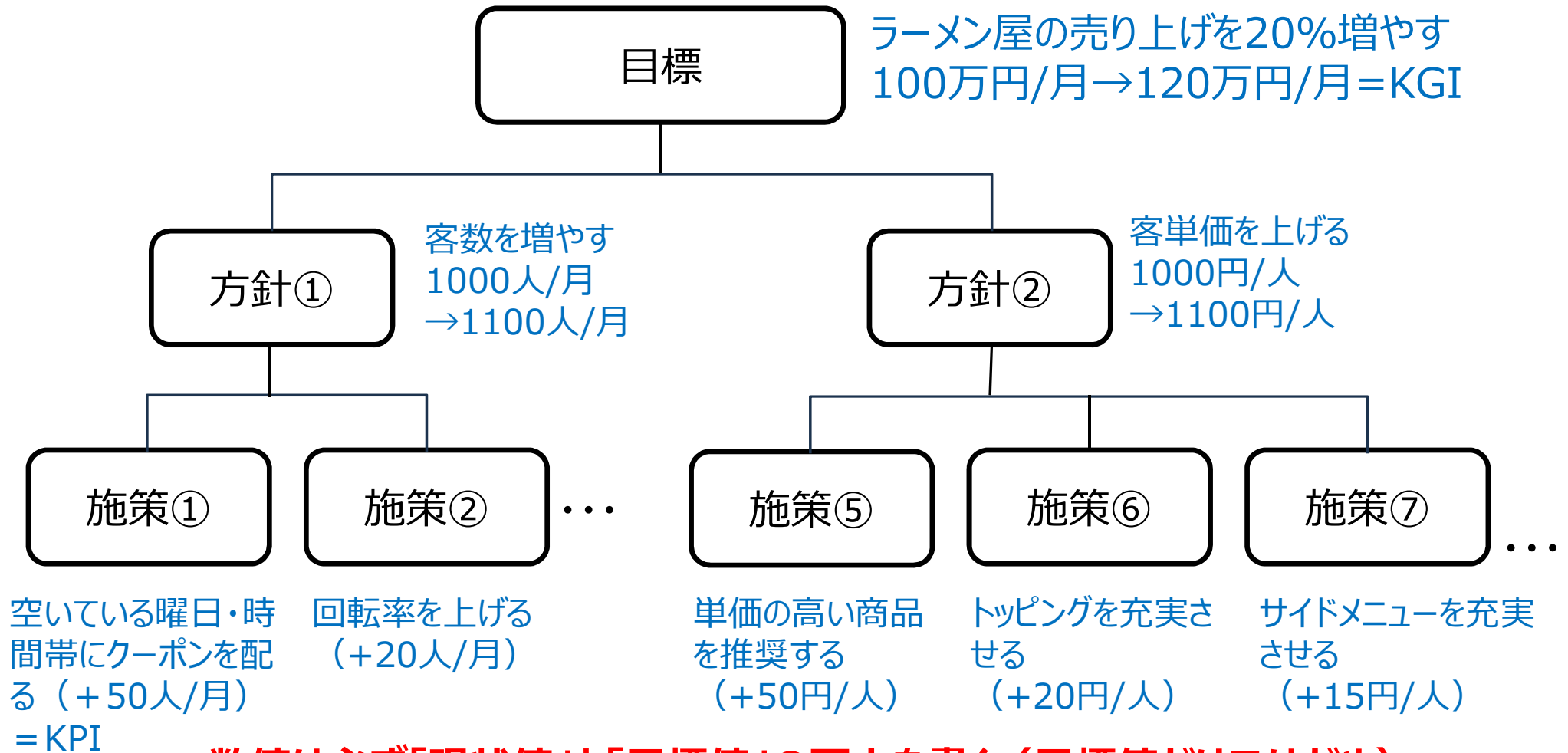
施策の評価指標を後から考える
(評価指標ではなく進捗管理指標になってしまう)

例：セミナーの開催回数、参加人数など

正しい手順

- ① 目的の明確化 (手段と目的を混同しない。最終的に解決したい課題を明らかにして、関係者で共有する)
 - ② 現状値の定量的把握
 - ③ 目標値の設定
 - ④ 目標達成のための施策を考える(複数)
 - ⑤ 各施策によって得られる課題解決効果(貢献度)を検討する。各施策の現状値を把握し、目標値を設定。複数施策の合計で③の目標が達成できればOK)
- 
- KGI
- 
- KPI

ラーメン屋の場合



数値は必ず「現状値」と「目標値」の両方を書く（目標値だけではだめ）

窓口部署の残業を減らす

目標
窓口部署の残業を減らす

現状値：45時間/月×10人
→目標値：0時間/月
▲450時間/月（KGI）

コンビニ交付
の利用促進

証明書交付は
できるだけコンビニに誘導

現状20%→80%
窓口処理800件/月
→200件/月
15分/件×▲600件/月
= ▲150時間/月
(KPI)

書かない窓口
の導入

窓口業務の
効率化

現状45分/件
→25分/件
900件/月×▲20分/件
= ▲300時間/月

オンライン
申請対応

窓口とオンライン申請
の内部処理の一元化

※内部処理を一元
化することで、作業
時間を増やさない
±0時間/月

振替納付を
増やす

納付処理や
督促業務を減らす

100件/月
→20件/月
15分/件×▲80件/月
= ▲20時間/月

開庁時間の
短縮

閉庁後の残業を
減らす

※閉庁後の事務処理
時間の確保
±0時間/月

この「住民の負担を減らす」版も作る

住民の負担を減らす

目標 住民の負担を減らす

現状値：1.5時間/件×2000件/月
→目標値：1000時間/月
▲2000時間/月（KGI）

コンビニ交付 の利用促進

証明書交付は
できるだけコンビニに誘導

現状20%→80%
200件/月→800件/月
1.5時間/件→0.5時間
▲1時間/件×600件/月
= ▲600時間/月（KPI）

書かない窓口 の導入

窓口業務の
効率化

現状45分/件
→25分/件
900件/月×▲20分/件
= ▲300時間/月

オンライン 申請対応

窓口とオンライン申請
の内部処理の一元化

現状10%→70%
100件/月→700件/月
2時間→0.5時間
▲1.5時間/件×600件/月
= ▲900時間/月

口座振替を 増やす

納付処理や
督促業務を減らす

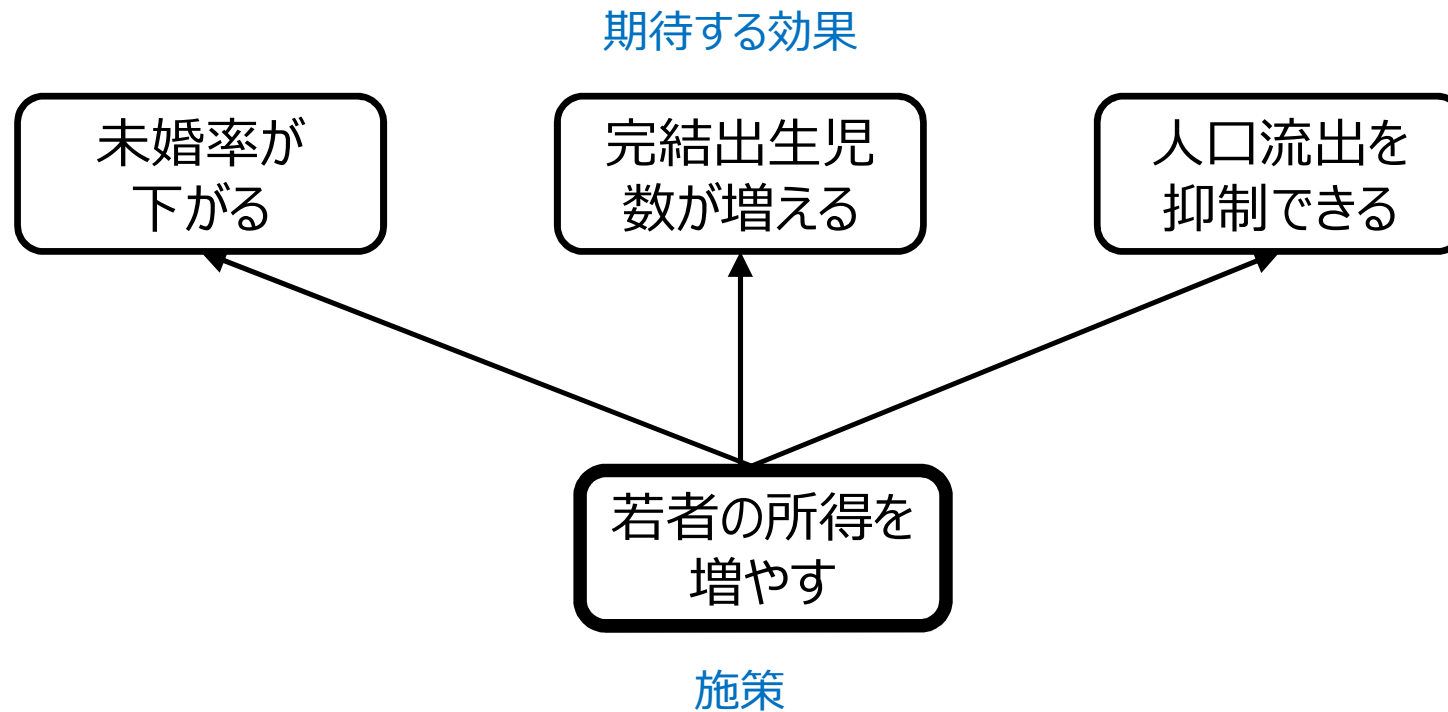
20件/月
→100件/月
1.5時間/件→0時間/件
▲1.5時間/件×80件
= ▲120時間/月

開庁時間の 短縮

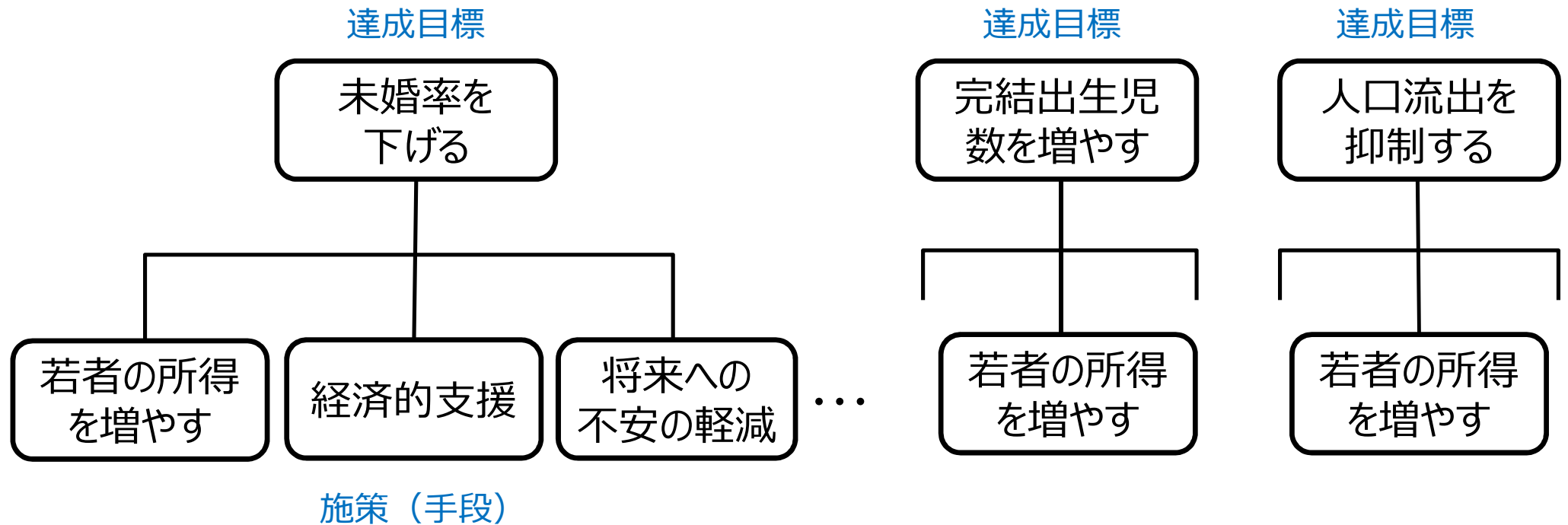
閉庁後の残業を
減らす

※閉庁後の事務処理時
間の確保
±0時間/月

こうではなく



それぞれにロジックモデルを作る



ロジックモデルを作ってみよう

② 最終目標は何か

③ KGIを考える

・現状値 : _____
・目標値 : _____

① 事業、施策、個人目標などを記入

⑤ ①を実現するための方策を考える

...

④ 最終目標達成のために必要な他の方策はないか考える

⑥ KPIを考える

・現状値 : _____
・目標値 : _____

・現状値 : _____
・目標値 : _____

・現状値 : _____
・目標値 : _____

Simple & Baton

物事をシンプルに考える。次の世代により良い形でバトンを渡す。